



校長室だより

2025 年 9 月 1 日
丹波市立進修小学校
校長 松田 亜矢

挑戦する気持ちを大切に やさしさのつながりを広げよう

長い夏休みが終わり、いよいよ今日から二期が始まります。学校に元気な子どもたちの姿が戻り、とても嬉しいです。

始業式には、心も体も大きく成長した子どもたちが集まりました。

始業式でお話したことは、3つのキーワード、自律、挑戦、つながりの中の、「挑戦」と「つながり」についてです。

夏休みは、それぞれのご家庭でいろいろなことに挑戦されたことと思います。今日の子どもたちの様子を見ると、きっと「やってよかった!」という気持ちになり、充実した日々を過ごしたのだと感じました。

また、保護者や地域の皆様が長い夏休み中、温かく見守ってくださったおかげであると感謝しています。



このような挑戦や体験ができるのは、たくさんの人との「つながり」に支えられて できます。

人とのつながりのひとつに、毎年夏に実施していただいている太子講の活動です。進修では、地域の職人さんが 夏休み中に、学校の壊れていたものを直すなどの整備作業をしてくださっています。

神戸新聞と丹波新聞にも取り上げていただきましたがご覧になりましたか?今までに、給食袋や体操服をかけるフックをつけてくださったり、掃除道具のドアを直してくれたり、中庭をきれいにしてくださったり 児童玄関にあるミストを取り付けてくださったり、たくさんのごをしてもらっています。

今年は、1～5年生の教室の後ろのロッカーをきれいに使いやすくしてくださいました。



もちろん、太子講の方々だけではなく。登下校を見守ってくれる地域の人たち、運動場の草刈りをしてくれた人、子どもたちは、たくさんの人たちの温かい気持ちに支えられて、今ここにいます。

みんなのために 誰かのために役にたつことができる人になってほしいと願います。

今年は、戦争が終わってから 80 年という節目の年です。80 年前、日本にはとても悲しい戦争がありました。300 万人の人たちが、大切な命を失いました。でも、その悲しい時代を乗り越え、一生懸命に生きてきてくれたおじいさんやおばあさんたちがいたからこそ、今の平和な日本があります。そしてここにいる 私たちが存在します。一人ひとりの命は、たくさんの人たちの思いや願いがつながって、今、ここにあります。

いのちのつながり

まずは、ちかくにいる
ともだちをたいせつにする

だれかのために

やさしさのつながり

私たちは、命のつながりを大切に、平和な世の中をこれからも守っていくことができます。そのためには、まず、近くにいる友達に優しくすること。困っている人がいたら助けてあげること。そういった小さなやさしさのつながりが、やがて大きな平和の力になります。そこで、大切なのが、隣にいる友達とのつながりです。

やさしさのあふれた学校ならたくさんの挑戦ができます。挑戦する勇気が出てきます。

二学期には、たくさんの行事があるので、いろいろなことに挑戦してほしいと思っています。でも、新しいことに挑戦するときは、失敗やまちがいはあたりまえ、失敗した方が成長します。失敗や間違いをしたときにどうするか考えることが大事だと思います。

ピンチのときこそチャンスがうまれます。

でも、失敗したらどうしようと心配します。

そんな時に近くにいる友だちが「大丈夫だよ」「もう一度やってみよう!」と声をかけられるのが、本当の仲間であり、やさしさのつながりが広がります。みんなが優しい言葉をかけあって、お互いを応援できるクラスになったら、どんなことにも挑戦できる、最強のチームになれると思います。

二学期は、たくさんの人に支えられている「つながり」に感謝しながら、新しいことに挑戦し、友だちとの温かい「つながり」を深めていきます。子どもたちの笑顔でいっぱい
の二学期になることを楽しみにしています!

保護者、地域の皆様には、2学期も引き続き子どもたちが安心、安全に学校生活を送れるようにご支援ご協力の程よろしくお願いします。

ちょうせんする（挑戦）

ピンチはチャンス

ともだちとのつながり

やさしさのつながり